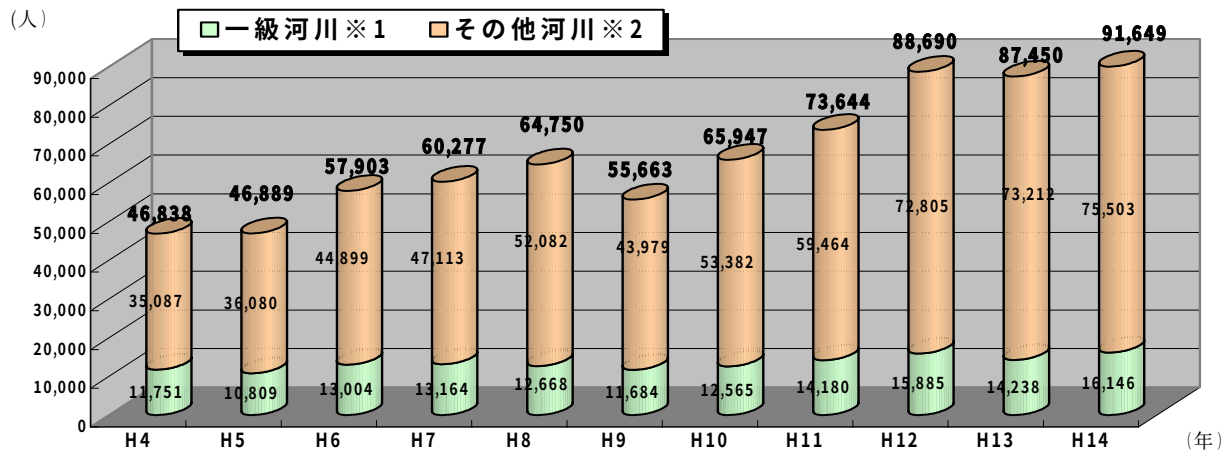


一般の方々による全国水生生物調査の調査結果について

参加者数は過去最多の 91,649 人。



参加人数の推移

※1 一級河川大臣管理区間のこと

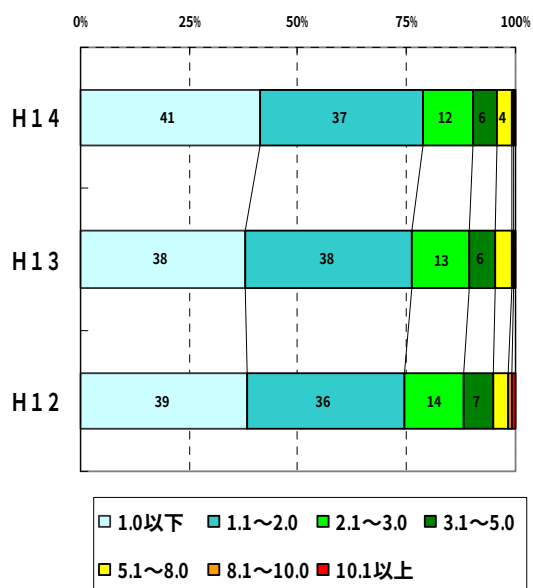
※2 一級河川都道府県知事管理区間及び二級河川等※1以外の河川

平成 12 年から国土交通省と環境省が調査方法を統一して参加を呼びかけ

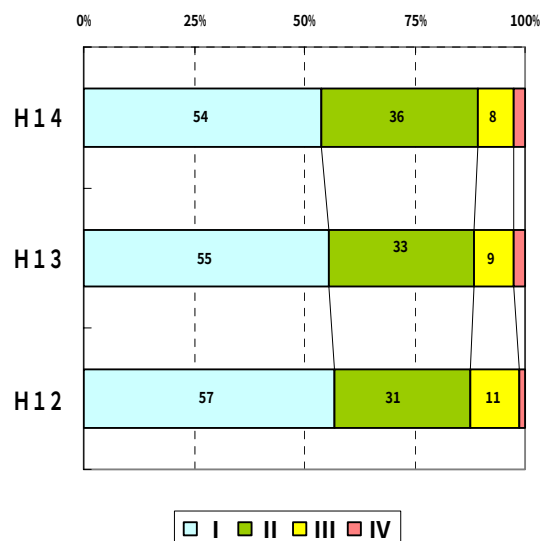
BOD 75%値と水生生物調査の経年変化

一級河川について、BOD 75%値と水生生物調査結果の経年変化を見ると、いずれも大きな変化はなく、概ね横這いの傾向を示しているといえます。

BOD 75%値経年変化(一級河川)



水生生物調査結果の水質経年変化(一級河川)



水生生物調査とBOD等の他の水質測定項目は同傾向

水生生物調査における水質階級毎に同地点で実施したBOD、T-N（総窒素）、T-P（総リン）、NH₄-N（アンモニア態窒素）について調査結果の比較を行いました。

この比較では、水生生物調査の水質階級でⅠ（きれいな水）～Ⅲ（きたない水）になるに従い、BOD等の測定濃度も高くなる傾向が見られます。（水生生物調査のランクⅣは同地点での他の観測データが少ないため、比較を行いませんでした。）

